

# 低成長時代に課題解決できる 人材養成方法とカリキュラム



**BBF**  
**Business Brain For U**

# 物流リーダー諸君



物流リーダー育成の基本は徒弟制度のように教育することであった。しかし物流リーダーが職人の集まりであればよかった時代から、指導と言う立場での活動が求められる時代になった今日、「おれの技を盗め」というだけでは時代遅れであることは否めない。

今日の現場で働く人々はすべてが社員ではない。その働く人も始めて作業する人が多い。最近では海外の拠点への指導も物流リーダーの業務になってきた。その物流リーダーの育成のポイントは、体系的に学び、成功体験を積み重ねる事。

**物流業務の手順を口頭で教えるだけでは伝わらない。  
作業マニュアルとして教材の如く残す事。改善の目の付け所はその場で教える事。**

# 目指す物流リーダー像

経歴  
1, 2年

- ★ 専門知識・作業知識をもち、且つ拠点での成功事例を説明できる
- ★ 現状の実態、課題、ボトルネックの課題、などを定量的に描ける

経歴  
3, 4年

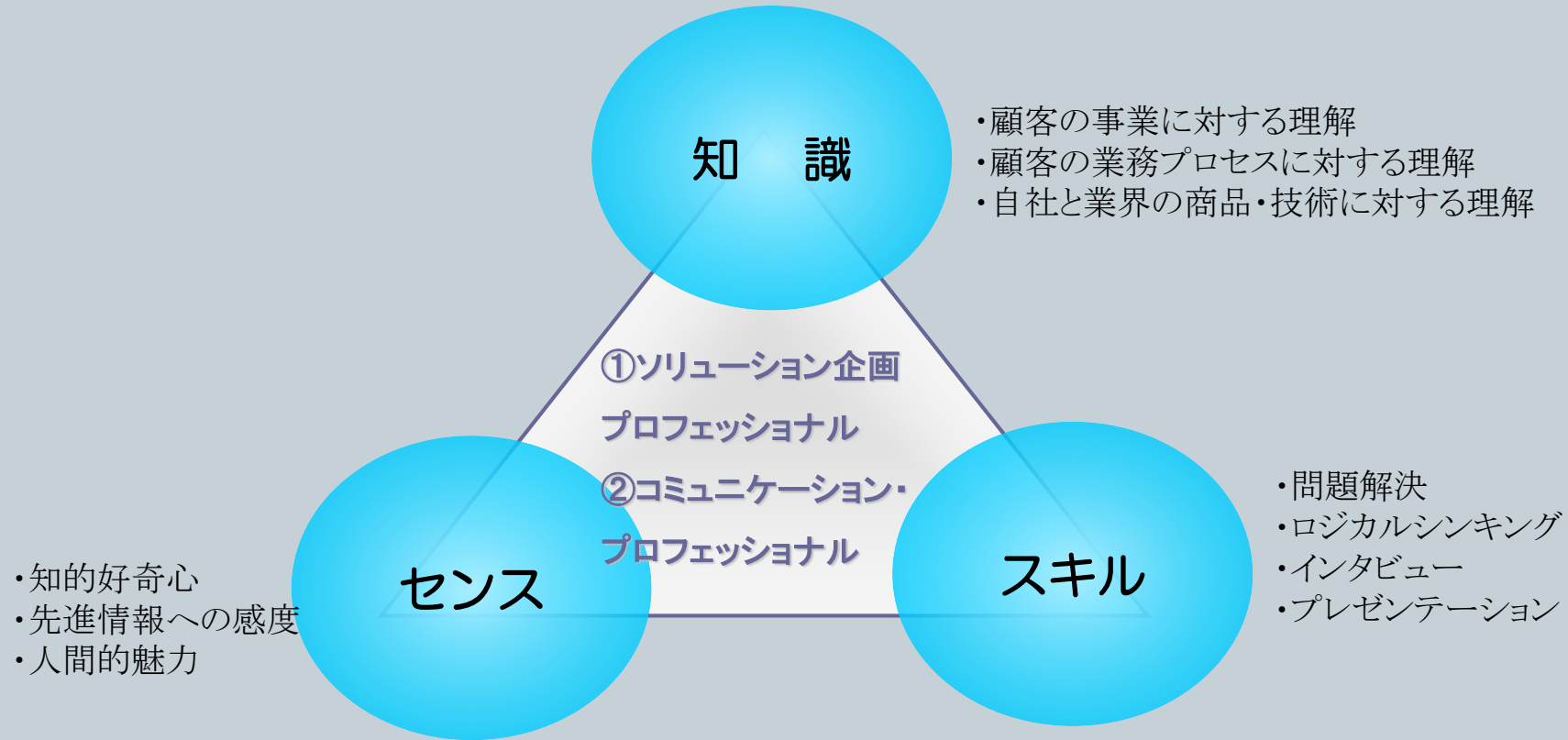
- ★ 専門領域、課題解決の切り口を持っている
- ★ 課題解決のための現状分析が指導できる
- ★ 原因に対する(現象ではなく)、対策が指導できる

経歴  
5, 6年以上

- ★ 商品特性、出荷特性に応じた作業方法、作業分担、作業編成が指導できる
- ★ その作業マニュアルの書き方を指導できる
- ★ 他拠点への指導(海外含む)、新規既存荷主への提案書が書ける

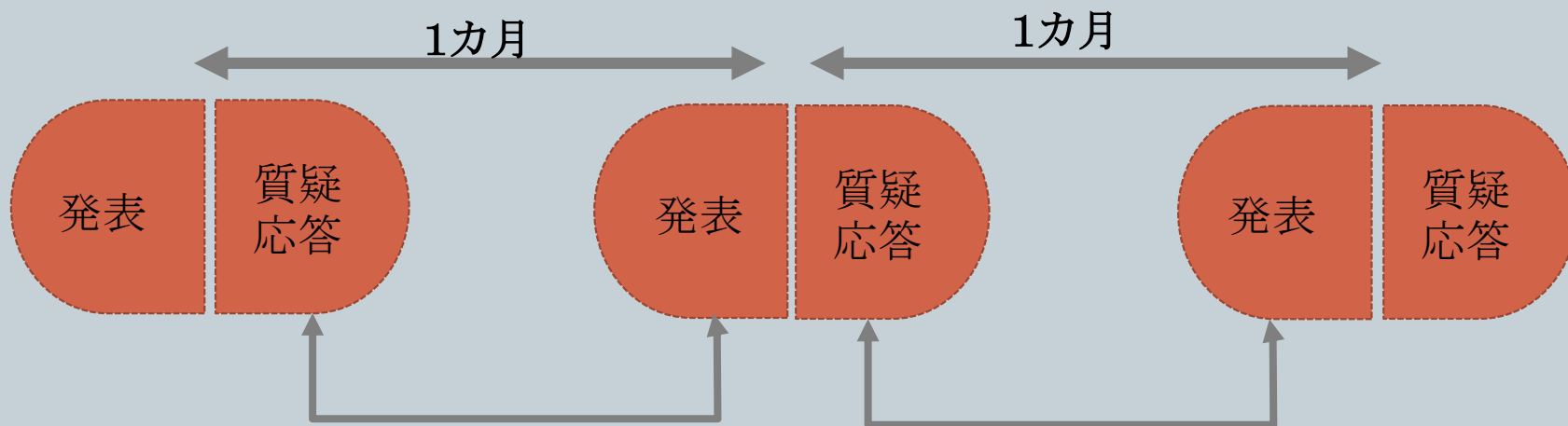
# 物流リーダーに必要な資質

物流リーダーに求められる資質は以下の3つ。  
下記3つの資質を磨くためのカリキュラムを設計した。



# 研修方法

月に1回、決められてテーマを学び、これに対して翌月に発表する。  
分析し、発表するスキルを磨く。



2年目位から受講生が他の受講生の発表に対して質問するようになる。  
この質問も的を得た質問になってくる。

# メーリングリストの活用

月に1回の研修の間にメーリングリストを活用して、現場で起きている変化、世の中の事故に関する原因分析、などのレポートや意見を起承転結で述べるトレーニングを行う。

本来の  
狙い

原因の一斉点検

改善の横展開

これ、どう思う？

メーリング

目標達成状況は？

通常の  
狙い

私の意見

今週は何があった

このメーリングリストには受講生の他上司も参加し、上司が講師の評価・受講生の評価も併せて行う。

# カリキュラムの例(中間管理職対象 1年目)



回数	大テーマ	中テーマ	カリキュラム
1	物流概念	物流業務業務範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>★調達、構内、製品、リサイクル、輸出入物流業務</li> <li>★各業務の目的(GSとKPI)</li> <li>★現状のCSとKPI</li> </ul>
2	改善コスト概念	物流コストの見方	<ul style="list-style-type: none"> <li>★物流コストと物流費用売上の計算方法</li> <li>★機能別、場所別物流コストの計算</li> <li>★物流コスト原単位の計算</li> </ul>
3		物流ABC分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>★物流ABCとは</li> <li>★物流ABCの計算方法</li> <li>★物流ABCの管理方法と改善着眼点</li> </ul>
4	目標展開	目標展開の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>★目標展開に使用する原単位</li> <li>★目標に対する見方と評価</li> <li>★目標のバラシ方</li> </ul>
5		目標達成の仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>★目標原単位と実績原単位のGAP分析</li> <li>★目標達成のための目の付け所</li> <li>★目標達成までの期間、プロセスの見方</li> </ul>
6	適正人員計画	荷量予測の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>★荷主別過去実績データ収集</li> <li>★変動要素の指数化</li> <li>★実際のシミュレーション</li> </ul>
7		人員計算と応受援方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>★実績データの取り方(生産性原単位)</li> <li>★シミュレーションによる必要人員と過不足人員</li> <li>★応受援の方法</li> </ul>
8	在庫管理	在庫の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>★部品在庫の層別(専用、共通)、仕掛在庫、ベンダー在庫</li> <li>★適正在庫の考え方</li> <li>★発注方法、生産サイクルタイムと在庫量の関係</li> </ul>
9		在庫の減らし方	<ul style="list-style-type: none"> <li>★発生原因別対応策</li> <li>★在庫削減で貢献する場合と仕掛在庫の持ち方で提案する場合</li> <li>★棚卸誤差の改善と棚卸時間の削減</li> </ul>
10	見たいデータ	後行程と前工程の連結	<ul style="list-style-type: none"> <li>★後行程の必要なタイミングの可視化</li> <li>★前工程の必要なタイミングの提示方法</li> <li>★情報連結の方法</li> </ul>
11	発表方法	まとめ方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>★起承転結のまとめ</li> <li>★まとめ方の指導</li> <li>★発表方法の指導</li> </ul>
12	発表会	発表と好評	これが評価対象

# カリキュラムの例(現場リーダー対象 1年目)



回数	大テーマ	中テーマ	カリキュラム
1	物流概念	物流業務業務範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>★調達、構内、製品、リサイクル、輸出入物流業務</li> <li>★各業務の目的(CSとKPI)</li> <li>★現状のCSとKPI</li> </ul>
2	改善概念	改善の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>★改善の4原則(ECRS)</li> <li>★自職場の4原則の考え方</li> <li>★改善の4原則の適用事例</li> </ul>
3		5S	<ul style="list-style-type: none"> <li>★5Sの考え方(整理、整頓、清掃、清潔、躰)</li> <li>★5Sの適用(何が正常で、何が異常か。誰が判断するか)</li> <li>★現場観測(定点観測、何が正常か)</li> </ul>
4	IE( Industrial Engineering )	IEの7つ道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>★工程分析</li> <li>★稼働分析</li> <li>★その他の道具</li> </ul>
5			<ul style="list-style-type: none"> <li>★データの取り方</li> <li>★データから見る正常値と異常値</li> <li>★課題の発見方法と対応策</li> </ul>
6	QC( Quality Control )	QCの7つ道具	<ul style="list-style-type: none"> <li>★パレート分析</li> <li>★要因分析</li> <li>★その他の道具</li> </ul>
7			<ul style="list-style-type: none"> <li>★データの取り方</li> <li>★データから見る正常値と異常値</li> <li>★課題の発見方法と対応策</li> </ul>
8	作業の原則	作業の7原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>★原則の説明</li> <li>★自職場での7原則から外れている作業</li> <li>★自職場での7原則から外れている作業の改善項目</li> </ul>
9		保管の7原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>★原則の説明</li> <li>★自職場での7原則から外れている保管</li> <li>★自職場での7原則から外れている保管の改善項目</li> </ul>
10	定着に向けて	指導方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>★作業手順書と作業マニュアルの相違</li> <li>★作業マニュアルの作成</li> <li>★作業指導方法</li> </ul>
11	発表方法	まとめ方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>★起承転結のまとめ</li> <li>★まとめ方の指導</li> <li>★発表方法の指導</li> </ul>
12	発表会	発表と好評	これが評価対象



私へのコンタクトは以下のQRからログインできます

9

## BBF細木へのアクセス あなたを儲けさせるコンサルタントです

知的財産のストックセンター



当社HPです。  
ソリューションタグ  
から知財資料がDL  
出来ます。

今この瞬間の情報発信基地



中堅企業・個人向け  
今の時代に合った、  
「見方・考え方」  
を発信しています。

事業のやり方が高度成長時代と同じになっていませんか？  
昔の仕組みでは戦えません  
戦うにもあなた1人では戦えません  
仲間が同じ方向を向いてこそ企業は行動し始めます  
仲間にも同じ見方・考え方を植え付けるための情報を発信しています